

第5回大月市土地開発公社経営検討委員会 会議録

日時 平成24年10月3日(火) 午後3時

場所 市役所3階 第2・第3委員会室

1 開会

2 委員長あいさつ

皆様お世話様です。今日が第5回目、予定では最後の土地開発公社経営検討委員会となります。いつもは暑い中、この経営検討委員会をやってきたという記憶があるのですが、今日は少し、やっと秋らしくなってきました。今日は、皆様の協力を得てなんとか今日は報告書のまとめという形までいきたいと思っておりますので、ご協力をよろしく申し上げます。

3 議事

大月市土地開発公社経営検討委員会設置要領第6条により、佐藤委員長が議長となる。

議長 みなさんのお手元に次第がありますでしょうか。その次第に沿って、今日も議事を進めさせて頂きたいと思っております。なお、本日、委員1名が所用のため、16時ごろで退席されるということなので、ご了承をお願いします。今日の議事については、3点用意がなされております。それでは議事に入ります。

(1) 第4回経営検討委員会に関する報告について

① 第4回経営検討委員会の会議録について

事務局 会議録の説明

議長 事務局からの説明について、質問・意見はありますでしょうか。

(委員からの質問・意見 特になし)

議長 ないようですので、次に進みます。

(2) 報告書(案)について

事務局 報告書(案)の説明

議長 説明して頂いた報告書(案)を基に、今回の経営検討委員会では報告書という形にまとめるための議論をして、この委員会としての結論にしていきたいと思っております。この報告書(案)は、事前に委員へ配付されているということによろしいでしょうか。

事務局 はい。配付しております。

議長 では、委員の皆さんには事前に目を通していただいていると思うのです

が、基本的なことで確認しておきたいということがありますでしょうか。それと同時に私の方で構成上、こうしたらいいのではないかとということがありましたので、あとで申し上げさせていただければと思います。ですので、その前に全員で確認しておくようなことがありますでしょうか。

(委員からの意見・質問なし)

議長 では、今、説明して頂いた報告書(案)の内容を踏まえて、これから確認をしていきたいのですが、本日、配付した資料で、私のメモ書きがある資料を見て頂けますでしょうか。事務局で説明した報告書(案)について、気になる点が何点かあるので、それについて、議論させていただければと思います。書いてある内容については、この前までに委員会で検討した内容なので、全然、私は異論がないと思っています。ただ、最終的には、この表紙に書かれているとおり「抜本的な経営改革策に関する報告書」というようになっているものですから、経営改革策を提示している報告書というものにしていかなければいけないということを考えると、ちょっとその辺りのメリハリがないのかなという感じがしております。そのメリハリのところを皆さんと一緒に確認していきたいと思っております。資料を開いて頂いて、1ページ目ですが、まず、報告書(案)では、第1として、検討委員会についてのプロフィール的なことが書かれているのですが、その前に報告書の目的など用途を入れておいた方がいいのではないかと思います。一般的な報告書においては、これは何の報告書なのか、何を目的として報告するものなのかといったようなことがあった方が第3者や市長が見るときにわかりやすいのではないかと思います。これは、私の案なのですが、メモ書きで説明してあるところで、3つ挙げております。表現は、後程、確認するといたしまして、書いた内容について、議論して頂きたいと思っております。1つ目は、「公社の経営上の問題を明確にすること」、どこに問題があるのかということはこの委員会で検討してきたので、それを明確に報告書で謳う。2つ目は、その上で、「公社の存在意義まで踏み込んだ組織改革策を提示すること」、このことを大事にしておきたいと思っております。どこに改革策が入るのかというのが、この報告書(案)の中では、ちょっとぼんやりしているような気がするので、あとでそれを確認していきたいと思っております。そして、3番目としては、大月市の財政を勘案した、公社だけでなく、大月市の財政を含めた上での「公社の持っている保有財産の処分方法を提示すること」を挙げます。以上の3つを最初に謳っておいた方がいいのではないかと思いますがいかがでしょうか。まず、こういう目的を最初に入れること、入れるとしたら、こういう内容でいかがでしょうかということなのですが、何か質問、意見がありますでしょうか。

委員 前回の会議の中で、2つ、説明というか、結論というかの中で、そのうち1つで提言を最初に持ってきたらどうか、それから提言ではなく、その報

報告書の目的、それも1つの提言の様式という形で「目的」という表現で載せると非常にわかりやすいかなと思います。なぜ、これをやっているのかということが明確になるとと思います。そして、前回の資料でも「経営改革策に関する報告書」とあったのですが、我々は単純な方がいいですから、一番最初の表紙の表題から、「大月市土地開発公社の経営検討に関する報告書」とする方が、我々が検討した結果だよというようなことで、表題も一番明確なものになると思われま。それで検討した報告書の内容が1ページ以降になるという流れの方が私は、個人的には、わかりやすくいいのかなと思います。「経営改革策に関する報告」となると我々の委員会での議論とかけ離れて、公社を存続させるようなイメージとなってしまうことや以前にも改革して、土地開発公社を継続させようという報告書が報告されたという説明がありましたので、今回につきましては、結論は解散の方向となっているので、その意味でも明確な表題として、前回の委員会での提示と違うのですが、考えれば、考えるほど、そちらの方がいいのではないかと、個人的には思います。

議長 今回の委員の意見は、もっと、そもそものところで、報告書の表題のところが経営改革策ではなく、経営検討委員会なので、経営検討に関する結果とした報告書とした方がいいのではないかとということですが。

委員 前回の委員会で、そういう発言をすればよかったのですが、そのときには、まだ頭になかったので、今回、意見を出させて頂きました。

議長 「経営改革」という言葉の捉え方について、私もそうなのですが、組織をどう変えていくかというようなイメージがあるので、この報告書の中身を見たときに、公社を解散するという内容にギャップを感じる、誤解を与えてしまうということがあるのでしょうかね。

委員 私も「経営改革」とあって、内容が「解散」では、若干、ニュアンスが違うような気がします。あと1ページの最初に、この経営検討委員会が設置された大きな目的や経緯など、委員長が挙げた公社の経営上の問題点を入れた方が私も問題提起など、読んだ人が何でこの委員会が設置されて、どういう問題意識でいたのかということが最初からわかっていた方がいいのかなと思います。

委員 この報告書案にすでに設置目的とあるので、ここに先ほどのことを載せたら、どうかと思います。確かに一挙に書いていくよりも今回の経営検討委員会の設置の目的や検討の目的を、まず入れておくというわけですね。文言は、「公社の抜本的な経営改革策の検討を行うための」と報告書案にはたぶん書いてあるのではないかと思うのですが。

委員 後ろとたぶん重複してしまいますので、軽く数行で示しておいた方がいいのではないかと思います。

委員 入れておいた方がいいということですね。

議長 どうでしょうか、まずタイトルの話が出ているのですが、タイトルを「経営検討に関する報告書」とさせてもらった方がいいような気がしますね。これは、何かタイトルをこのようにしなければいけないというようなものがあるのでしょうか。

事務局 国が示しております「第三セクター等の抜本的な改革等に関する指針」というものがありまして、それらから引用させていただき、タイトルとさせていただきます。委員の皆様のお考えで、報告書のタイトルを変えることは、一向に構いません。

議長 では、「経営検討に関する報告書」としてください。これを踏まえて、報告書の中身をもっと掘り下げていこうと思うのですが、第1のところ、「委員会について」の前に、何らかの報告書なり、委員会の提言を入れるのもいいかもしれませんので、個人的に言いますと、やはりこの報告書自体が何なのかということを書いてもらわないと読む人がいきなり検討委員会と言われてもわからない感じがするんですよね。

委員 いいんじゃないでしょうか。

議長 では、そのようにさせていただきます。

事務局 設置目的のところちょっと文言を付け足させて頂いて、そのあとに先ほど挙げた3点を記載して、締めるということでもよろしいでしょうか。公社に問題があったので、こういうことで経営検討委員会を設置するというような流れで作ればよろしいでしょうか。

議長 そうですね。この委員会もそうですが、この報告書自体の位置づけもきちんとしておかなければいけないかなと思いました。

事務局 第1の前にその報告書の目的・要旨の文言を入れてから、それから第1に入っていくという形でよろしいですか。

議長 そうですね。書き方のパターンとして、いきなり結論を言うパターンもあるかと思うのですが、そこまでではなくとも、少なくとも目的や狙いなどは、入れておいた方が、どんな本でも、どんな資料でも、そのようになっています。

次ですが、これも私からの提案なのですが、第3章で「土地開発公社の現状について」ということで、経営的なことが少し書かれており、これはこれで確かにそういうことだし、すごいいろいろな問題があるということをお聞きしたいと思います。ここで書き方の問題なのですが、先ほど、「経営改革」とかっていう言葉が表題から無くなりましたが、でも、経営改善ということでもいろいろと検討してきたわけですから、どこに問題があるのかということをもっと明確に、シンプルに言うておいた方がいいのではないかというように思います。この第3の「土地開発公社の現状について」という文章からは、読み込めば、いろいろな経緯がわかって、どこに問題がある

のかということイメージできる気がするのですが、もっと単純に、シンプルに表現ができたらいんじゃないかなという気がしています。その点については、いかがでしょうか。その問題があって、解決策として、公社を解散するなり、市へ所有する土地を残さないことだと思うのですが、何が問題なのかというところだけなのですが、その点については、いかがでしょうか。

委員 主旨としては、ここに書いてあるとおりですし、委員の我々は、検討してきたので、よくわかっていることですが、ただ、第3者が、何も知らない人が読んだときにわかるようにまとめてあげるとするのは、確かに議長がおっしゃるようにならなければならない。うまくまとめられるのであれば、内容はここに書いてあるとおりですので、あとはまとめ方の問題だと思います。

議長 そうですね。書いてある内容をもう少し再構成する必要があるような感じはします。

委員 章外でその内容を明確にするというのも一つの手法ですよ。

議長 そうですね。ただ、少なくとも第3のところは、「土地開発公社の現状と経営上の問題」とか、「問題」という言葉をどこかに入れておいた方がいいような感じがして、では、問題はなんなのかということはこの中の表記で入れておいた方がいいかと思います。

委員 もしでしたら、2つ使って、今、言われた、「土地開発公社の現状と経営上の問題」とか、そのような章題にしたらどうかと思います。

議長 そうですね。では、仮に章題をそのようにした場合、第3に「経営上の問題」という文言を入れたときに、この報告書(案)を読んでいくと、2つ、または3つに大きく分かれていくのではないかと思います。報告書(案)の2ページのところの最初の段落から4段落目まで、土地開発公社自体の事業性の問題が記載されているかなと思います。簡単に言うと、もう土地は長く持たざるを得ない状況であり、公社が先行取得し、売却するというビジネスモデルが成り立っていないという事業上の問題とここに書かれていませんが、公社の組織と市の職員の組織が一体となって、公社の組織が形式化しているという問題、また、将来的な問題として、取得する土地がないということなどから、もう公社の役割がないというような事業上の問題を1つ出してしまうというのはどうでしょうか。そして、この2ページの5段落目の「さらには、～」というところからは、もしかしたら、会計上の問題としてしまっているのではないかと思います。「事業上の問題」と「会計上の問題」、もしかしたら、「会計上の問題」は、P Lの問題、利益が上がらないという問題とB Sの問題、バランスシート上の問題を分けてしまうというのもいいかもしれませんが、でも、それらがつながっているので、1つずつに分けてしまうというわけにもいかないような気がします。

それで事務局でもう一度、再整理して頂ければ、すっきりするような感じはしたのですがいかがでしょうか。会計上の問題は、特にPL上の問題として、赤字体制になっていることで、過去に岩殿ニュータウンの補償費や修繕費が発生して、それが赤字になっているとか、或いは借金があり、利息を払い続けているとか、或いは土地を売却しても地価が簿価を割り込んでいるので、利益が出ないということとか、そういう利益構造上の問題とそれに連動して、借金があり、債務超過に陥っているというバランスシート上の問題を整理し、報告書へ書いて、もう経営体としては、財政上も市の補助金がないと成り立っていかないというような問題点も書いたら、少し明確になるのではないかと思います。

委員 今、話があったように事業上の問題点と財務上の問題点を書くというのはいいと思います。あと、この3、4ページに表が掲載されているのですが、表について、表1については文章中に説明があるのですが、表2と借入金残高の推移の表については特に明示、説明もなく、掲載されているだけなので、文章と関連付けていくのが必要なのではないかと思います。以上の点が問題点として挙げられ、あとはそのような形でいいのではないかと思います。

議長 ありがとうございます。表が3つありますが、1つに表の番号が記載されておらず、表3がないということ、表2・表3については報告書(案)の中で言及されているところがないということですし、これは必要な部分だと思われそうですね。

委員 あと、メモ書きでも書いてありますが、表に金額の単位を入れて頂く必要があるかと思います。

議長 そうですね。借入金残高の推移の表以外は、円単位になりますかね。また、議論が戻るかもしれませんが一旦、ポイントを整理する観点で、次を見ていきたいと思います。5ページ目ですが、4章と5章のところですが、4章のところは、将来、土地開発公社はどうなのかということ、3つの観点で書いてもらってありますが、1つ目、2つ目は、もしかしたら、先ほどの事業性の問題で、将来の公社の事業としての役割はないということが書かれているので、先ほどの第3を受けて、この2つの問題があって、存在意義がないということをもとめて頂ければと思いますので、大きな修正箇所はないかと思います。ただ、3つ目のところについては、少し論点が違ってきているような気がします。市の財政状況などが入ってきてしまい、土地開発公社のことを言っているのか、大月市全体を言っているのかというように混在してしまっているような印象があります。両方のことを含める必要はあると思いますので、2つを分けて、表記した方がいいような気がします。また、そのときに保有資産を公社が保有するのではなく、大月市で保有したほうが良いということを表記すれば、第5にバトンを渡すよ

うな流れになるのかなという感じがしましたがいかがでしょうか。3つ目のところは、書き出しが「市の財政状況から」となっており、立ち位置が完全に市の財政からの目線になっていて、市の財政の目線からもかなり検討はしてきたので、それをどこかに盛り込まなければいけないと思うのですが、一旦、公社の目線と市の目線について、立ち位置をはっきりとしておいたほうがいいかなと思います。或いは、ここは、市の目線で押し通してもいいかと思います。そうすると土地開発公社の存在意義ということを設置者である市の目線から考えるというような書き出しにした方がわかりやすくなるのではないかと思います。何か書き出しを変えた方がいいでしょうか。「3つ目として、市の財政状況からも公社の存在意義については、」という見出しとか、何か書き出しの問題のような気がします。

事務局 大月市の状況を説明し過ぎたということなのでしょうか。

議長 そうですね。それは、それで説明していいと思います。でも、あくまで公社が主役、報告書では、公社が主役なので。ただ、大月市としても関わる必要があると思うので、これについても書いておく必要があると思います。では、一旦、前に進んでから、また戻ってきましょう。次に第5のところですが、「まとめ」というタイトルは、すごく不親切な表現方法に感じます。この部分は最後のところですし、この報告書全体のタイトルに連動するような「経営検討の提案」とか、「公社の在り方の提案」など、そんなタイトルを付けた上で、この委員会から何を提案するのか、報告するのか、ということをしかりと明示する必要があると思います。そうすると、このタイトルについては、少し置いておいて、この報告書で何を言うのかということ、今まで4回の議論の中で、委員全員の合意形成ができたこととして、異論があったら言ってもらいたいのですが、1つは「公社を解散する」、これをちゃんと言ってしまうため、箇条書きにするとか、タイトルにするなどを行います。そして、2つ目は「公社が持っていた保有資産は市へ移管し、長期的な視野で活用と処分を考えていく」、3つ目は「公社が持っていた負の資産は、第三セクター等改革推進債を活用して返済をしていく」とし、以上の3つを提案し、報告書の結論をきちんと言ったほうが、親切だと思いますし、報告書として、そうしなければいけないような気がするのですが、いかがでしょうか。

委員 いいですね。

議長 もちろん報告書（案）の中では言っているのですが、ちゃんとその3つの提案を箇条書きとか、タイトルで表現した方がいいのではないかと思います。

委員 そうすれば、第5と第6は、どうなりますかね。内訳みたいな感じですかね。

議長 そうですね、第5と第6は、一緒にしてしまったほうがいいようですね。

書き方としては、第5に「経営改革の提案」とか「経営改革の結論」として、1番「公社は解散する」、そして、解散する理由は、前から出ているように公社の存在意義が無くなったなどですが、そこにはあまり説明はいらなないと思います。次に2番として、「公社が持っていた保有資産は市へ移管し、長期的な視野で活用と処分を考えていく」とし、そのこのところに少し長くなってしまいますが、第6の文言を盛り込んでいったらどうかと思います。そして、3番目に「公社が持っていた負の資産は、第三セクター等改革推進債を活用して返済をしていく」とし、5ページの「また、保有地の」というところの文言が使えるかと思います。以上の点について、いかがでしょうか。

委員 私もそれがいいと思います。結論は、簡単な言葉で示しておいて、あとは、下の方は、説明をすればいいわけで、まとめとなる第5、第6は、説明に充てれば、どうでしょうかね。1について、2について、3について、それぞれ説明を述べた表現の方がわかりやすいのではないかと思います。

議長 そうですね。我々は、一生懸命、議論してきたので、見れば、なんとなく事務局の方も含めて、わかっていることだと思うのですが。

委員 全部、読んでから、結論を見出すというのは、非常に大変なことだと思います。結論をきちっと1つの短い文言で言った方が、みんなに正確に伝わるんですね。全部を読んでから解釈しようとする、人それぞれの解釈があって、別の解釈をしてしまえば、解釈が共通にならないということが一番困ることではないかと思います。やはり解釈は、きちっと誰が見てもこれだという結論の方がよろしいかなと思います。そうすれば、単純明快な言葉で表現した方が誤解はないですね。誤解が生じるというのは、よくないことだと思います。

事務局 どうでしょうか、かなり報告書(案)の構成が変わりそうな感じですが、再度、もう一度、委員会を開催するか、それとも委員長と事務局へ一任していただくかということなのですが。

議長 そうですね。では、今後の予定も含めて考えていきたいと思うのですが、修正ポイントについては、今の話で大丈夫でしょうか。

委員 細かいことなのですが、3番の第三セクター等改革推進債を活用して借入金を返済するという項目にシミュレーションというか、何か説明のようなものを入れたらどうかと思います。結局、大月市で債権を立てて、そのお金で何本かある公社の借金を一気に返済するということですね。それは、私たちは説明を受けているので、よくわかるのですが、これを市民が見た場合には、よくわからないかと思うので、そこだけ、わかりやすい内容を入れた方がいいかなと思います。

議長 それは、前回の第4回で説明のあった実質公債費率とか、将来負担比率についての説明を入れた方がいいということでしょうか。

委員 そこまで求めています。今、数十本ある公社の借金をまとめて、第三セクター等改革推進債で借り入れて、借金を返済し、公社の借金を消して、大月市で返済していくんですよという形の説明を入れておかないとよくわからないのではないかと思います。実質公債費率や将来負担比率を入れると余計にわかりにくくなると思います。

議長 では、その返済の説明というか、シミュレーションというかを少し工夫して頂くようにしてもらいたいと思います。

委員 それについては、説明を入れておけばいいのではないかと思います。市が借金したお金で公社の今ある借金を返済するというのを説明に入れておけば、たぶんよくわかると思います。

議長 借入金は23億円でしたでしょうか。

事務局 23億円を予定しております。23億円を市が第三セクター等改革推進債で許可を得て、銀行から借りて、公社に代わって、返済し、その後、23億円については、10年とか20年とかの返済期間で返済していくということになります。今、委員から話のあったことを報告書の中に入れておけば、確かにわかりやすいかなと思います。

議長 手順を1、2、3…として、箇条書きに表記してもいいのではないかと思います。

委員 金利が下がる理由として、途中に入れてもいいと思いますが、ただ、説明は入れておいた方がいいと思います。

議長 金利が下がる理由というのは、報告書（案）のどこかに入っていましたでしょうか。

事務局 6ページの「この制度を活用し」というところで触れています。

議長 他に何かありますか。

委員 よろしいでしょうか。6ページの上から6行目にある「平成25年度までの期限付きで、起債を認めることとしている。」とあるのですが、大月市がどのような行為を行えば、起債が認められることになるのかといった表現が何かありますか。起債を申請するとか、どういう許可を得るとか、表現の言葉がありますか。

事務局 起債そのものを認めてもらうような手順が必要であるという意味ですか。

委員 「国は、第三セクター等改革推進債を創設した。」と、大月市とすれば25年度までの期限付きで、申込みというか、その表現はどういう言葉が正しいのでしょうか。

事務局 「平成25年度までの期限付きで、起債を認めることとしているので、大月市としては」とし、解散をして、第三セクター等改革推進債を申請するというのをに入れておいた方がいいということでしょうか。

委員 その期限までに申し込みをして、手続きをするということを、専門用語があったら、その用語を使って、入れておいた方が明確になるのではないかと

と思います。

事務局 「認めることとしている」とありますが、市がどのような行為が、認められるのに必要かということを入れておくということですね。

議長 他にあれば、何でも意見等を出していただければと思いますがいかがでしょうか。

委員 文言のところで1つよろしいでしょうか。6ページの第6の①の2行目で、「現実的には難しく、市又は公社で…」のところの「又は公社」の部分は必要ないと思いますので削除して、「市で保有せざるを得ない」としたほうがいいのかと思います。

議長 この部分では、既に大月市で引き受けることを前提に書かれているので「公社」の文言は、なくていいということですよ。

議長 他にいかがでしょうか。出尽くしたようであれば、今後の進め方、最終的なまとめ方を議論していきたいと思うのですが。

委員 細かいことなのですが、表1、表2等がありますが、説明の中にいろんな数字がその表に基づいて明記してありますよね。その数字と同じものを表の中から探さなければならぬということがあるので、(イ)とか、(ロ)とか、何か表示するようなものがあれば、それを数字の後ろにカッコ書きで(表1-イ)と表示すれば、探しやすいかないというように思います。いろんな数字を表から拾い出しているのですが、果たして、どこの数字のかなと見るのに、非常に探しにくいことがあるので、特に表示してあるものについては、そういう文字を表示していただくとわかりやすいと思います。

事務局 文章の中に入っている金額の後ろにカッコ書きを入れ、なおかつ、対応する表にも印を入れて、わかるようにするというところでよろしいでしょうか。

委員 そうですね。そうすれば、非常にわかりやすいと思います。

議長 この表は、前に頂いた資料から持ってきている表ですよ。

事務局 そうです。

議長 他に何かありますか。

(委員から意見・質問なし)

議長 では、もう一度、確認をします。表紙に戻って頂いて、報告書のタイトルが「大月市土地開発公社の抜本的な経営検討に関する報告書」というタイトルとしたいと思いますがよろしいでしょうか。

事務局 「抜本的な」という文言もいれますか。

議長 「抜本的な」という文言は入れない方がいいですかね。「抜本的な経営検討」では、おかしいですかね。シンプルに「大月市土地開発公社の経営検討に関する報告書」ということでよろしいですか。

(委員から意見等なし。)

議長 では、そのようにさせていただきます。そして、1ページ目には、この報告書

の目的といったものを入れてから、第1章へ入るということにします。第2章があって、次の第3章のところは、見出しを「土地開発公社の現状と経営上の問題」とします。

事務局 表記の方法として、報告書（案）では、第1、第2…としてありますが、第～章とした方がよろしいでしょうか。

議長 どうでしょうか。私自身は、第1、第2という表記の仕方が初めてでしたので、いろんな場合があつていいと思うのですが。

事務局 市役所の場合、法律や規則などの例規ですと第～条と表記しますし、募集要項などを作るときには、第1、第2とかという使い方をする場合もありますので、報告書での表記については、委員の皆様で検討して頂ければと思います。

議長 特に支障がないと思いますので、この第1、第2…という表記でいいかと思いましたがよろしいでしょうか。

（委員からの反対意見なし）

議長 では、そのようにさせていただきます。次に第3のところ、見出しのあとの内容を2つに分け、そこに「1. 事業性に関わる問題」、「2. 財政上の問題」と立てた方がいいかと思えます。そして、その中で何が問題なのかということ、経営的な書き方でなく、「これが問題ですよ」とわかるような書き方にして、文書を多くして、難しくするよりも箇条書きのように文書を軽くしてしまつていいのではないかと思います。2つに分けて、何が問題なのかということ、3つ問題がある場合には、3つそれぞれについて述べるような、そんな表現をしたらどうかと思えます。

委員 「現状」という部分は、どうするのですか。

議長 現状については、問題を述べる中で現状についても説明しなければならないため、一緒にいいかと思えます。最終的に問題が述べられていけば、いいのではないかと思います。もし、それに違和感があれば、見出しから「現状」を取つてしまえばいいのではないかと思います。

事務局 あるいは、第1として、公社の現状を入れた方がいいかとも思いますがいかがでしょうか。

議長 そうですね。そういう考え方もありますね。でも、現状については、なんとなく第2の役割の中で少し書かれているような気がします。

事務局 もしでしたら、第3に書かれている「現状」の内容については、第2の役割の中に加えてしまつて、第3は、現状の問題のみとして、スッキリしてしまつたらどうでしょうか。

議長 そうですね、例えば、ちょっと細かい話ですが、2ページの第3のところの5行目で「右肩上がりの～役割を果たしてきた。」とある部分は、完全に役割について、述べられているため、第2に加えてしまつていいのではないかと思います。このような部分が第3の中に少しあつたりするので、こ

れらを第2に加えてしまって、役割の部分で現状についても述べてしまってもいいのではないかと思います。しかし、現状を述べないとなかなか問題点が指摘できないということもありますよね。

事務局 問題を引き出すために、現状を述べる必要があるということですかね。

議長 現状を述べるだけでは、あまり意味がなく、問題をちゃんと指摘することに報告書の意味があると思います。

事務局 では、そのままということでもよろしいですか。

議長 そうですね。ちょっとここは、少し大変なところかもしれませんね。内容を2つに分けて、問題を指摘して頂いて、表の表記の仕方も細かいことですが、手を加えていただくということをお願いします。そして、5ページ目のところですが、第4のところは、多少、修正する部分はあるかもしれませんが、これはこれでいいかもしれませんね。3つの点で、公社の存在意義が見当たらないとしているのですが、3つ目の点で、市の財政状況の目線で述べられているのですがこの部分はいかがでしょう。

事務局 土地開発公社の存在意義を議論する中で、1つ目としては、公社の保有地から見た場合、2つ目は市の事業計画から見た場合、3つ目は市の財政状況から見た場合というように議論したかと思いますので、それをまとめさせて頂きました。

議長 述べられていることは、その通りだと思います。この3つの観点から、土地開発公社というのは、将来的に考えても存在意義がないということになるんですね。

事務局 それだからということで、第5のところ、経営検討の提案ということに結び付けるような形になっております。

議長 第4のところは、多少、微修正をしたとしても、このままでということでもよろしいですね。また、細かいことになってしまうかもしれませんが、5ページの第4のところの下から3行目の「これらのことから…」というところは、改行したほうがいいかと思います。最後に第5のところですが、見出しのところは、どうしましょうか。「経営改革の提案」とか、「公社経営検討に係る結論」や「公社経営検討に係る提案」などが考えられますが、

委員 「提案」を入れた方がいいかと思います。

議長 では、「公社経営検討の提案」とします。その提案は、3つに分けて、1、2、3とします。1つ目は、「公社は解散する」として、説明をする。2つ目は、「保有資産は市に移管して、長期的な視点で活用・処分していく」として、説明する。3つ目は、「第三セクター等改革推進債を活用する」として、説明する。この3つに分けて、以降の文書を再構成していくということをお願いします。では、今、確認しましたが、最終確認ですけれども、もう一度、事務局に報告書（案）を作ってくださいということでもよろしい

ですか。さて、今後の予定ですが、事務局との相談にもなりますが、いかがいたしましょうか。やり方としては、この委員の中では、合意形成ができていますので、事務局が作成した報告書を委員長と副委員長が確認し、細かいところの修正はさせていただきますが、基本的には任せて頂くパターンと少し手を加える箇所等が多いので、再度、委員会を開催し、確認していくパターンがあると思いますがいかがでしょうか。

事務局 事務局としては、委員長と副委員長に手直しや確認して頂いたものを委員の皆さんに送付させていただいてから、市長へ報告を行うということを考えております。もし、それでよろしければ、早急に本日の指摘事項を取りまとめさせて頂いて、委員長、副委員長に確認してもらい、ご了解頂ければ、報告書の最終版として、委員の皆さんに送付し、委員長と副委員長には、後日、市長のところへ報告書の提出をお願いしたいと考えております。

議長 事務局からの今後の予定について、いかがでしょうか。

委員 基本的なことが変わることはないでしょうし、あとは構造的な部分だと思えますので、委員長、副委員長に任せる形で、お願いができればと思います。

議長 では、そうさせていただきます。基本的には、委員長の私と副委員長に預らせて頂いて、少し修正を行うかもしれませんが、そこで市長へ報告書を提出することとします。しかし、その段階で、委員の皆さんに確認して頂く必要がある場合には、集まっていただくかもしれません。

委員 委員会を招集するということですか。

議長 そうですね、委員会を招集いたします。他の委員の皆様もよろしいでしょうか。

(各委員からの反対意見なし)

議長 では、そうさせていただきます。一度、お手数ですが、事務局で再構成して頂き、それを確認させていただくということでよろしく申し上げます。

(3) その他

議長 先ほど、今後のスケジュールについても確認しましたが、他に何かありますか。

事務局 特にございませぬ。

議長 以上で本日の議事について、終了いたします。

4 その他 (特になし)

5 閉会